

## 【 投球数制限について 】

### 1. 中学生（レギュラーの部・ジュニアの部）

#### 1) レギュラー及びジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする  
連続する2日間で80球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を40球以内とし、  
4連投（連続する4日間）は禁止とする  
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない  
ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球したこととする  
また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする
- ③ 大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、  
当該打者の打席終了までは投球を認める  
投球数を超過した球数は投球数にカウントしない  
3連投させたい場合の1日目及び2日目（ダブルヘッダーの場合は1試合目）の40球以上はカウントされる
- ⑤ 連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても  
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする
- ⑨ 1年生が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮すること

#### 2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日70球以内、週350球以内とする  
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	第 六 日 目	備 考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	第1日目80球、第2日目40球で連続する2日間で120球となったため、第3日目は 投手・捕手として出場できない。(また、2日間で80球を超えているので第3日目は 捕手して出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板 した場合は、第4日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目が休みだったので、第5日目80球、第6日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	第1日目、第2日目で80球を超えたため、第3日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目、第5日目で連続する2日間で80球を超えているため、第6日目の3日間 連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	第1日目、第2日目で40球以内の3連投をしているため、第3日目は投手・捕手と して出場できない。第4日目は80球のため第5日目は投球した時点から1試合目に 登板してなくても連続する2日間で80球を超えているため、第6日目は投手・捕手 として出場できない。
投手F	30 50	休 * 捕 手 可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投 できないが、*連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は、第5日目 は投手・捕手として出場できない。

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

## 2. 中学生（1年生大会）

### 1) 1年生大会の試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大70球とし連続する2日間で105球以内とする  
連続する2日間で70球を超えた場合、3日目は投球を禁止する
- ② 3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を35球以内とし、  
4連投（連続する4日間）は禁止とする  
なお当該投手の投球制限内での投球カウントの停止は行わない  
ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球したこととする  
また、1試合のみ投球した場合は1日の投球とする
- ③ 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可能とする
- ④ ①～③を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、  
当該打者の打席終了までは投球を認める  
投球数を超過した球数は投球数にカウントしない  
3連投させたい場合の1日目及び2日目（ダブルヘッダーの場合は1試合目）の35球以上はカウントされる
- ⑤ 連続する2日間で70球を超えた投手、並びに2連投した投手は、翌日は捕手としても  
出場できない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

### 2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日70球以内、週350球以内とする  
また週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事

「中学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	第 六 日 目	備 考
投手A	70	0	70	0	70	0	70球投げた翌日には登板していないため、翌々日には70球投球できる。 (打者終了時に70球を超えても、1試合分の最大カウント数は70球)
投手B	70	35	休	70	0	70	第1日目70球、第2日目35球で連続する2日間で105球となったため、第3日目は 投手・捕手として出場できない。(また、2日間で70球を超えているので第3日目は 捕手として出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	35	35	30	休	70	35	3日間連続35球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板 した場合は、第4日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目が休みだったので、第5日目70球、第6日目35球の投球は可能。
投手D	35	40	休	30	50	休	第1日目、第2日目で70球を超えたため、第3日目は投手・捕手として出場できない。 第4日目、第5日目で連続する2日間で70球を超えているため、第6日目の3日間 連続登板および捕手として出場できない。
投手E	35	35 35	休	70	0 35	休	第1日目、第2日目で35球以内の3連投をしているため、第3日目は投手・捕手と して出場できない。第4日目は70球のため第5日目は投球した時点から1試合目に 登板してなくても連続する2日間で70球を超えているため、第6日目は投手・捕手 として出場できない。
投手F	30 40	休	35 35	35	休	70	ダブルヘッダーで70球以内であっても、どちらかの試合で35球を超えた場合は、3連投 できない。また、2連投しているので翌日は捕手としても出場できない。 第3日目からの3連投は35球以内なので可能であるが、3連投した投手は、第5日目 は投手・捕手として出場できない。

※数字は投球数。「休」は投手または捕手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

### 3. 小学生（レギュラーの部・ジュニアの部）

#### 1) 小学生レギュラー及びジュニアの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大70球とし連続する2日間で105球以内とする  
3連投（連続する3日間）は禁止する  
ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した時は連続2日間投球した事とし、翌日は登板できない（ダブルヘッダー登板は可）  
また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする
- ② 大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可能とする
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、当該打者の打席終了までは投球を認める  
投球数を超過した球数は投球数にカウントしない
- ④ 小学部においては投手から捕手の制限は設けない
- ⑥ ボークは投球数としない
- ⑦ 申告敬遠は投球数としない（打者の途中の場合は、それまでの投球はカウントする）
- ⑧ 雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする

#### 2) 練習の中での全力投球は以下の通りとする

1日50球以内、2日間で90球以内とする  
また2日間投球した場合、3日目は投球してはならない

「小学生投手の投球数制限統一ガイドライン」の適用例

	第 一 日 目	第 二 日 目	第 三 日 目	第 四 日 目	第 五 日 目	第 六 日 目	備 考
投手 A	70	0	70	0	70	0	70球投げた翌日には登板していないため、翌々日には70球投球できる。 (打者終了時に70球を超えても、1試合分の最大カウント数は70球)
投手 B	70	35	休	70	0	70	第1日目70球、第2日目35球で連続する2日間で105球となったため、 第3日目は登板できない。
投手 E	40 30	休	70	35 休	休	70	第1日目ダブルヘッダーの場合、1試合目40球2試合目30球投球したため、 第2日目は登板できない。(3連投禁止) 第3日目70球投球し、第4日目のダブルヘッダーは、1試合目に35球投球したため、 2試合目及び第5日目は登板できない。
投手 F	70	0 35	休	60	30 休	休	第1日目70球、第2日目2試合目に35球投球したため、第3日目は登板できない。 第4日目60球投球し、第5日目ダブルヘッダーの1試合目に30球投球したため、 2試合目及び第6日目は登板できない。

※数字は投球数。「休」は投手として出場できない日。「0」は登板しなかった試合。

※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

### 4. 小学生（キッズの部）

#### 1) キッズの試合での登板は以下の通り制限する

- ① 1日最大50球とし、2日間の連投は禁止する
- ② 打者の途中で降板しなければならない投球制限に達した時は、当該打者の打席終了までは投球を認める  
投球数を超過した球数は投球数にカウントしない
- ③ ボークは投球数としない